2016 年 11 月 30 日
株式会社アイリッジ
飛騨信用組合

金融業界初、ブロックチェーン技術を活用した電子地域通貨 地域創生の取り組みとして岐阜県飛騨地域で商用化

～アイリッジと飛騨信用組合の協業により実現～

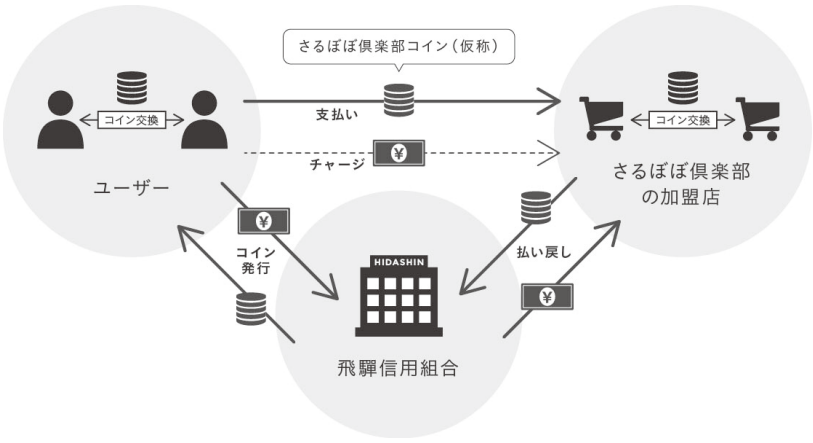
株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、以下「アイリッジ」）と飛騨信用組合（本社：岐阜県高山市、理事長：大原 誠）は、フィンテックソリューションによる地方創生の取り組みとして、スマートフォンアプリを活用した電子地域通貨のプラットフォームを導入します。金融機関による地域通貨の電子化は業界初で、地域密着型の金融機関として、利用者のメリットを確保しながら地域経済活性化を目指すことを本旨とし、併せて金融機関自身の収益にも資するビジネスモデルを実現し、全国の金融機関や自治体等に向けて提供を開始します。

本プラットフォームはブロックチェーン技術を活用し、セキュリティを確保しながら、システム投資コストの低減を可能とする利便性の高い金融サービスを実現します。

第一弾として来春、飛騨信用組合の職員を対象とし、「さるぼぼ倶楽部コイン（仮称）」を導入し、商用化に向けた実証実験を行います。本実証実験を通じて、技術、セキュリティ、法制度や運用面における課題を抽出・検証し、来夏の実現を目指します。

■ 電子地域通貨「さるぼぼ倶楽部コイン（仮称）」とは

本通貨は地域限定で利用できる地域通貨で、地域住民や訪日外国人向けに提供する電子通貨です。スマートフォン上で利用できるため、地域通貨の印刷・流通コストを減らすことが可能です。ユーザーは現金でコインをチャージし、加盟店での支払いをキャッシュレスで行うことができます。コインにはプレミアムを付与することで普及を促す他、有効期限を設定することで、コインを眠らせることなく、一定頻度での利用を促します。店舗側は導入に際し、決済端末等の大規模なシステム投資が要らず、クレジットカードなど他決済システムと比べ初期費用や決済手数料を低く抑えられるため、手軽に導入することができます。なお、導入については、飛騨信用組合が提供するさるぼぼ倶楽部*の加盟店（さるぼぼ倶楽部ファミリー店）からスタートしたいと考えています。



＜「さるぼぼ倶楽部コイン（仮称）」利用イメージ＞

株式会社アイリッジ 広報担当　Email：pr@iridge.jp　TEL：03-6441-2325
飛騨信用組合　広報担当　Email：kikaku@hidashin.co.jp　TEL：0577-32-8988

＊「さるぼぼ倶楽部」とは、”地元の皆さまが地元で買い物や食事などをされることにより、地域が元気になっていく”・・・そんな願いを込めた組織です。飛騨信用組合の組合員とその家族が、お申し出により倶楽部会員となり、加盟店(さるぼぼ倶楽部ファミリー店)でお得なサービスや特典を受けられる会員制の優待サービスです。このサービスを利用することにより飛騨地域でのお金の流動化を促進します。

■ 導入の背景

人口減少や過疎化をはじめとして、社会・経済構造は未だかつてないスピードで変化しており、地方においては特にそのような影響が深刻化している状況です。このような状況下、政府は 2016 年 10 月、産業界・地域と連携した消費需要喚起対策を全国的に展開する必要があるとして、2 億円の第 2 次補正予算を編成するなど、地方創生に向けた取り組みを加速しています。問題の解決には地域資源を利活用し、各自治体固有の問題に合致した地域経済再生を推進することが求められています。

そのような背景のもと、地域密着型の金融機関に求められる役割は大きく、取引先企業の成長を後押ししながら地域経済を活性化させ、金融機関自身の収益力強化にもつなげていくことが求められています。

前述の社会課題に対する解決策を講じ、社会から求められる役割を果たすため、今回、フィンテックソリューションや O2O（Online to offline）領域におけるアプリ開発で業界一の実績を誇るアイリッジと、岐阜県飛騨地域において長らく地域金融・経済の要として機能してきた飛騨信用組合が協業し、本プラットフォームを企画・開発していきます。

■ 今後の展開

アイリッジと飛騨信用組合は、地域に密着した金融機関との協業による、地域創生のためのフィンテックソリューションを深化させ、決済や売上データの見える化により、ビッグデータマーケティングを推進します。加えて、それらデータの活用をさらに深化させ、地域経済活性化を目的としたトランザクションレンディング（売買や資金決済、顧客評価などの取引履歴を利用して審査をする融資）など、次世代フィンテックサービスを展開していきます。各自治体の特性や課題に即したソリューションを提案・提供することで、地域経済活性化に貢献してまいります。

■ 各社の役割分担について

本プロジェクトのビジネススキームの策定については、飛騨信用組合とトーマツベンチャーサポート株式会社の協業により実施しました。飛騨信用組合は、今後もトーマツベンチャーサポート株式会社と連携し、法制度や運用面における課題解決を順次実施していきます。

【株式会社アイリッジについて】

株式会社アイリッジは、「インターネットを通じて、世の中に新しい価値を創り続けていく」という理念のもと、スマートフォンを活用した、企業の O2O 支援を行っています。O2O 支援はスマートフォンを利用したもので、O2O ソリューション「popinfo（ポップインフォ）」の提供、O2O アプリの企画・開発、集客・販促等を中心とした企画・運用支援（O2O マーケティング）をサービスとして提供しており、O2O やスマートフォン向け位置連動型サービスの分野では業界トップクラスの実績があります。
URL:　http://iridge.jp/

【飛騨信用組合について】

飛騨信用組合は、岐阜県飛騨地域の 2 市 1 村を拠点とする地域金融機関です。2016 年 4 月より新たにスタートした新中期経営計画においては、「CSV 経営」をテーマに掲げ、地域の皆さまとともに「HAPPY」をつくっていきたいと考えています。「CSV 経営」とは、事業活動を通じて企業にとっての価値だけでなく、社会的な価値の創造を目指す経営、いわば「三方良し」の理念に基づいた経営を意味します。事業活動を通じて地域の社会的な課題に取り組んでいくことで、地域・お客さま・当組合職員の「HAPPY」を実現し、地域に新しい光を灯すことを目指しています。
URL:　http://www.hidashin.co.jp/

株式会社アイリッジ 広報担当　Email：pr@iridge.jp　TEL：03-6441-2325
飛騨信用組合　広報担当　Email：kikaku@hidashin.co.jp　TEL：0577-32-8988